



# 週間情報



No.2716

発行日 平成27年4月21日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ QUOカードの取扱について

#### 一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会は、全国の消防関係者を対象にQUOカードを特別価格で取り扱っております。

退職記念や栄えある叙勲、褒章の記念等にQUOカードの制作を承ります。

是非、この機会にQUOカードをご検討下さい。

なお、申込方法等につきましては、一般財団法人全国消防協会ホームページ

(<http://www.ffaj-shobo.or.jp/index.html>) に掲載していますので、ご覧ください。

#### 【一般財団法人全国消防協会ホームページ画面】



QUOカードの申し込みは、  
こちらからお願いします。

#### 【QUOカードの作成イメージ】



叙勲記念



入賞記念

### 行事

#### ◆ 豊島消防署庁舎公開と豊島特別救助隊40周年記念行事を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁豊島消防署では、平成27年3月1日（日）、火災予防運動の一環として消防庁舎の公開を行ったほか、発隊から40周年目を迎えた豊島特別救助隊の記念行事を行いました。

庁舎公開では、雨天にも関わらず700人を超える来署者を迎え、消防車両の展示やはしご車の乗車体験や火災実験の見学などを通じ、職員と来署者がふれあう良い機会となりました。

来署者から「普段できない体験ができた。」といった感想が寄せられ、職員にとって日頃の職務の励みとなる一日でした。

また、40周年記念行事では、豊島区長をはじめ、区議会議員、都議会議員の方からの激励を頂戴し、隊員をはじめ職員一同身が引き締まる思いで、改めて豊島区の安全を守るために尽力する決意をしました。



【記念行事の様子】

#### ◆ 火災予防普及啓発ポスター表彰式を実施

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部（埼玉）

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部では、火災予防に対する意識の高揚を図ることを目的として、管内の中学生を対象に「火の用心」をテーマとした火災予防ポスターを募集したところ98作品の応募がありました。

レベルの高い作品が多く審査に苦慮するなか、朝霞市立朝霞第二中学校2年生、松本寧々さんの作品が最優秀賞に選ばれ、平成27年3月5日（木）に表彰状の授与を行いました。

この作品は、当消防本部の火災予防普及啓発ポスターとして製作され、管内の公共施設や事業所などに掲示し、火災予防の呼び掛けに役立てられます。



【火災予防普及啓発ポスター表彰式の様子】

## 訓練・演習

### ◆ 水難救助総合訓練を実施

#### 横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局中消防署では、平成27年3月7日（土）、中区山下公園及び海上において、川崎市、藤沢市、平塚市の各消防本部と横浜海上保安部の参加を得て、東日本大震災を踏まえた水難救助総合訓練を実施しました。

近年、風水害や津波に伴う水難事案が増加傾向にあるなか、当消防局本牧和田水難救助隊をはじめ、特別高度救助部隊、航空隊、消防艇よこはまと各機関の水難救助隊が連携して、津波により流された8人の要救助者を救出する水難救助活動のほか一斉放水を行うなど、力強い消防の姿を披露しました。



【水難救助総合訓練の様子】

### ◆ 警防活動技術発表会を実施

#### 太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、平成27年3月12日（木）、13日（金）の2日間、当市消防本部中央消防署において、警防活動技術発表会を実施しました。

各署所から当直対応にて最先着隊を想定し、1隊4名編成、手振りの要救助者の救出、延焼防止、火点警戒といった活動内容で、2日間で127名が参加し日頃の訓練成果を発表しました。

本発表会は、昨年度設置した警防活動等技術向上委員会が企画・運営し、小隊活動を更に確立させ、より効果的な消防活動を行うとともに、警防隊員の知識・技術の向上を図ることを目的として実施しました。

今後さらに発表内容を検証し、改善することによって安全管理体制の更なる充実を目指します。



【警防活動技術発表会の様子】

## ◆ 平成26年度第2回警防・救助活動練成訓練を実施

### 奈良県広域消防本部（奈良）

奈良県広域消防本部では、平成27年3月16日（月）から19日（木）の4日間、<sup>かしはら</sup>橿原消防署において、新組合発足後2回目となる18署合同の警防・救助活動練成訓練を実施し、管内延べ90人の職員が参加しました。

想定は第1回を継承したもので、火災現場における最先着隊の初期活動とし、引き続き基本技術の確認と若年層職員の活動能力の向上や各署におけるチームワークの醸成を図りました。

また、共通認識の下、活動内容を統一的に評価して訓練を実施することで士気高揚と連携強化を図ることができました。

今後も多くの職員に対して訓練を実施し、署所間の交流を深めて新広域消防としての連帯意識の向上に努めていきます。



【警防・救助活動練成訓練の様子】

## 研修等

## ◆ 救助に関する職員研修を実施

### 島本町消防本部（大阪）

島本町消防本部では、平成27年2月26日（木）、救助に関する職員研修を実施しました。

当町消防本部においては、近年、団塊の世代の職員が退職を迎え、新人職員採用による年齢層の若年化が進むことにより指導者が減少し、日頃の訓練や教養等に苦慮しているところです。

そこで今回、人材育成を目的に大阪市消防局警防課警防部救急救助担当の槇得氏を迎え、「救助隊員の心得」をテーマにした講話をしていただきました。

規模の異なる組織の話ではありましたが、普段の訓練方法、隊員とのコミュニケーション、現場での経験談など、若手職員のモチベーションの向上にもつながり、非常に有意義な研修となりました。



【職員研修の様子】

## ◆ 社会福祉施設を対象とした防火管理研修を開催

### 埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局所沢中央消防署は平成27年3月2日（月）、平成27年春季全国火災予防運動の一環として、自力避難が困難な方が入所する社会福祉施設（令別表第1（6）項口）の防火安全対策の徹底を目的として、防火管理研修を開催しました。

研修は、防火管理者及び自衛消防隊長を対象に「防火管理の重要性と消防法令の改正」、「消防用設備の取扱い」、「火災予防上の点検・検査」、「自衛消防活動の留意事項」の内容で行いました。

スプリンクラー設備と自動火災報知設備の設置基準の強化、消防機関へ通報する火災報知設備と自動火災報知設備の連動を義務付ける等の消防法令の改正があることから、対象となる施設は関心が高く、33名が参加しました。

この研修に対するアンケートでは、研修は火災予防の役に立ち、消防機関へ通報する火災報知設備と自動火災報知設備の連動試験を早期に実施したいなどの回答が寄せられました。



【防火管理研修の様子】

## ◆ 小規模社会福祉施設消防研修会を開催

### 加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、平成27年3月4日（水）、管内の社会福祉施設で高齢者の宿泊を伴う施設のうち、延べ面積1,000㎡以下の施設関係者を対象に研修会を開催しました。

本研修会では、類似施設での火災事例を紹介するほか、自動火災報知設備と連動した火災通報装置による119番通報を取り入れた火災想定訓練を実施しました。

参加者は、消防法施行令の改正により設備面の強化が図られたことに伴う火災時の初期対応について、熱心に耳を傾けていました。



【小規模社会福祉施設消防研修会の様子】

## ◆ 口頭指導研修会を実施

### 熊毛地区消防組合消防本部（鹿児島）

熊毛地区消防組合消防本部では、平成27年3月14日（土）、消防職員を対象にした口頭指導研修会を初めて実施しました。

研修では、主に心肺停止事例の救急通報を受けた際、倒れた人の状態を的確に聞き取り、必要な処置（心肺蘇生）を指導する方法を学びました。

この研修会は、熊毛地域救急業務高度化協議会作業部会（部会長：社会医療法人義順顕彰会田上病院麻酔科部長高山千史医師）主催で開催され、熊毛管内（種子島・屋久島）の通信指令に従事する職員27名とボランティアスタッフ13名の合計40名の参加で実施されました。

研修では、通信員の口頭指導が通報者側に正しく伝わっておらず、現場では応急処置が正確に実施されていないこともあったと判明しました。このことから、今後、通報者に応急処置の指導内容をしっかり理解していただき、動作の確認も行うような説明対応力の必要性が検証され認識することができました。今後の救命率の向上に役立つ非常に有意義な研修会となりました。



【口頭指導研修会の様子】

## そ の 他

### ◆ 消防団協力事業所表示証交付式を開催

#### 桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部では、平成27年3月2日（月）、消防団協力事業所表示証交付式を開催し、伊藤治雄消防長から、ヤマザキマザック精工株式会社に消防団協力事業所表示証が手渡されました。

当市においては、平成23年4月1日から、桑名市消防団協力事業所表示制度実施要綱を策定して運用を開始しました。

平成26年8月、新たに2事業所を認定し、今回の認定で協力事業所は市内3事業所、市外1事業所の合計4事業所になりました。



【消防団協力事業所表示証交付式の様子】

### ◆ メンターバッジのデザイン作成に係る感謝状の贈呈

#### 宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、若手消防職員育成に係るメンター制度運用に伴い、メンターバッジを作成しメンターとしての責務を意識づけるため、メンター担当（指導者）の職員にバッジを貸与することにしました。

このバッジは、宝塚大学造形芸術学部3年次生の吉田実賀さんにデザインしていただいたもので、平成27年3月11日（水）、吉田さんに消防長から感謝状と記念品を贈呈しました。



【メンターバッジ】



【感謝状の贈呈の様子】

## ◆ 新消防艇「おおつ」の運用を開始

大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、平成27年3月23日（月）、中消防署水上出張所等において、新消防艇「おおつ」の運用開始式を執り行いました。

運用開始式では関係者約70人が出席し、消防艇の歴史や建造過程、概要などを説明した後、テープカットにより新たな運用を祝いました。

今回の更新では、3代目の消防艇「おおつ」として初めて市民から愛称を募集し「湖都風（とかぜ）」の名前を採用しました。

ウォータージェット推進器や1トンの重量物を吊れるクレーン、救急資機材を常時装備した救護室を設け、新たな機能を備えた高機能な消防艇として中消防署水上出張所に配備します。

当市消防局ではこの消防艇の性能を最大限に生かし各種災害に的確に対応して市民の安心・安全に努めていきます。



【新消防艇「おおつ」】

## ◆ 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村消防団連携協力協議会の発足

富田林市消防本部（大阪）

近年、全国各地で様々な大規模自然災害が発生するなか、私たちが住む南河内地域でも、大雨による土砂災害や洪水、また、大規模地震等がいつ発生してもおかしくない状況にあります。

このことから、富田林市消防本部管内の各消防団が連携協力体制をとり、住民の安全を守るため、平成27年4月1日（水）、「富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村消防団連携協力協議会」が発足しました。

各消防団は、日頃、それぞれの地域で、昼夜を問わず消防防災活動を行っていますが、同協議会は、大規模な災害が発生した場合、市町村の管轄区域を越えて相互に連携協力することで災害による被害を軽減し、地域の住民の人命と財産を守ることを目的としています。



【消防団連携協力協議会の発足】

## ◆ 人命救助の功労に対する感謝状の贈呈

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、平成27年4月13日（月）、水難救助事案において迅速な救助活動により人命救助に寄与した4人に対し消防長から感謝状を贈呈しました。

平成27年3月29日（日）、浜名湖内に自動車転落したのを発見した被表彰者4人は、一致協力して水没しかけている自動車から男性を救出し陸上へ搬送するとともに、119番通報を実施した結果、要救助者は一命を取り留めました。

この功績に対し感謝の意を表し表彰したものです。



【感謝状贈呈の様子】

## 消防学校からの便り

### ◆ 初任科実科査閲・卒業式

#### 千葉県消防学校（千葉）

千葉県消防学校では、平成27年3月19日（木）に消防職員初任科第159期の実科査閲を、20日（金）に卒業式を挙行了しました。

初任科第159期生120名は、厳正な規律のもとで行われた6か月間の厳しい訓練を耐え抜き、誰一人脱落することなく教育訓練を修了しました。

教職員一同は、6か月間を耐え抜いた120名全員が、土砂災害や火山の噴火など近年多発する自然災害の現場においても、立派な消防人として活躍するものと確信しています。



【実科査閲の様子】



【卒業式の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 消防用設備等の設置に係る金融上の措置について（情報提供）（4月14日、事務連絡）

予防課より、各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに次のとおり事務連絡されましたのでお知らせします。

標記の件について、平成27年4月1日における「中小企業者に対する消防用設備等に係る融資制度」は、別添（省略）のとおり利率等の変更が行われております。

当制度は、事業の拡大等のために行う建築物の新築、改築、増築又は設備等の設置にあわせ、消防用設備等の設置、防災対象物品の整備を図ることにより、防火安全対策の充実強化に資するものです。

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県管内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨周知されるようお願いします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2704/pdf/270414\\_jimuren.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2704/pdf/270414_jimuren.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課  
担当：大坊

## 報道発表

### ◆ 大規模イベント開催時の危機管理等における消防機関のあり方に関する研究結果 (4月14日、消防庁)

消防庁では、2019年のラグビーワールドカップや2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会という大規模イベントの開催に向けて、消防機関等が今後取り組むべき課題及び対応策をとりまとめましたので公表します。(以下省略)

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/04/270414\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/04/270414_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 国民保護・防災部防災課国民保護室  
担当：近藤課長補佐、安藤事務官

## 情報提供

### ◆ 「第14回危険物事故防止対策論文」消防庁長官賞等の決定(4月13日、消防庁)

消防庁では危険物保安技術協会と共催で「第14回危険物事故防止対策論文」を募集していたところですが、今般、消防庁長官賞(1編)、危険物保安技術協会理事長賞(1編)及び奨励賞(2編)の受賞者が決定しました。(以下省略)

○ 全文は、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/info/2015/20150413-1.pdf>) に掲載されています。

【問い合わせ先】  
危険物保安室企画係

※ 消防庁各課室の直通電話番号は(<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>)に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)